



なばり

2011年(平成23年) 8月28日発行

主 内容

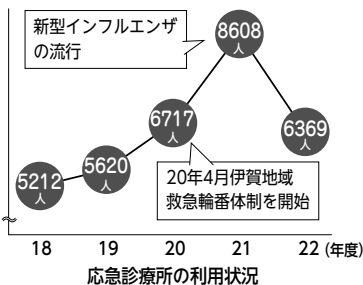
- 2……名張市史だより
- 3……ひまわり、かがやき催物、リバーナホール催物
- 4……二次救急実施病院、国津の杜の行事、救急医療週間講演会

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

現在、伊賀地域の3病院が連携を図りながら、二次救急医療に対応していますが、医師不足などにより、これを維持することが困難になっています。このため、市では、医療従事者の処遇改善や医療機器の整備など魅力ある病院づくり、関係大学への働きかけなど医師確保に取り組んでいます。市民の皆さんには、地域医療を守るために一次救急と二次救急のすみ分けにご理解いただき、軽症の場合はかかりつけ医や応急診療所を受診いただくようご協力いただいていることから応急診療所の利用者は増加傾向にあります。今号では、毎夜間と休日昼間に一次救急を担当する応急診療所に



地域医療を支える 応急診療所 vol.1



スポットを当て、管理者である名賀医師会会長矢倉政則さんに応急診療所の役割や取り組みなどについてお話を伺いました。

☎ 地域医療室 ☎ 63・6970

応急診療所を充実させ、地域医療体制を守りたい

伊賀地域の救急医療を守っていくためには、かかりつけ医や応急診療所が軽症患者に対応する「一次救急」と市立病院などが重症患者に対応する「二次救急」の役割分担が不可欠です。軽症の患者の多くが「二次救急」へかかると、「二次救急」はパンクしてしまいます。もし「二次救急」が機能しなくなると「一次救急」もやっつけられません。

名賀医師会では、平成22年4月から、応急診療所の休日夜間の受付時間を午後11時まで延長したり、救急車の受け入れを積極的に行ったりする中で、二次救急病院の負担軽減を図り、伊賀地域の救急医療体制を守ろうとしています。



名賀医師会
会長 矢倉 政則さん

応急診療所の重要な役割の一つは、一晩様子を見ていいのか、すぐに二次救急へ搬送すべきなのかをトリアージ(選別)することです。「応急診療所の先生

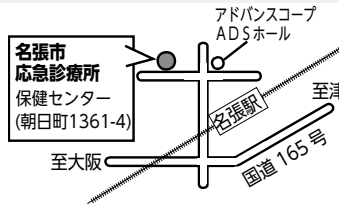
が専門でないで不安」という声を聞くこともありますが、トリアージは当番医の専門の診療科かどうかにかかわらず、知識や経験に基づき医師であれば当然できるものです。また、医師会では市内の開業医に対し、子どもの病気の研修などを実施し、小児の診療に対応できるような体制を整えるなど日々進歩する医療に対応できるよう努力しています。

市民の皆さんに、ご理解いただきたいのが、応急診療所はあくまで応急的な処置や投薬を行う機関であるということです。検査などの設備も整っていませんし、発熱や腹痛などの原因を特定したり、病名を確定したりする機関ではないのです。かかりつけ医にかかるまで、一晩安心して様子を見てもらえることを目的としていますので、薬も基本的に1日分しかお出ししていません。

伊賀地域の救急医療は、待たなしの状況です。二次救急医療の負担を少しでも軽減するためにも、わたしたち名賀医師会会員が丸一となって応急診療所を充実させ、伊賀地域の医療体制を守っていきます。市民の皆さんも普段からかかりつけ医を持つことと、体調がおかしいと感じたら、早めにかかりつけ医の診療時間内に受診していただくようにご協力をお願いします。

名張市応急診療所のご案内

保健センター向かって右側に併設しています。



【診療科目】 内科・小児科

【診療受付時間】

| | |
|------------------------|------------------------------------|
| 平日(月～土曜日) | 午後8時～午後11時 |
| 休日 (日曜日・祝日・お盆・年末年始) | 午前9時～正午 午後3時～午後5時 午後8時～午後11時 |

- ☆診察料、健康保険証、各種医療費受給者証をご持参ください。
 - ☆薬を服用中の人は、「お薬手帳」など薬の内容がわかるものをご持参ください。
 - ☆翌日や休日明けにはかかりつけ医などの診察を受けてください。
 - ☆入院などが必要な場合は、二次救急医療機関を紹介します。
 - ☆悪天候時は休診する場合があります。
- ☎ 応急診療所 ☎ 63・3913

広報なばり9-4号に「地域医療を支えるvol.2市立病院」を掲載予定です